

あべともこニュース

号外

立憲民主

RIKKEN MINSHU

何よりもいのちの安全保障を。

◆改正沖縄新興特別措置法、可決

3月31日、「沖縄振興特別措置法」が参議院本会議で全会一致で可決・成立、振興策の10年の延長と社会情勢にあわせて5年以内に内容を見直すことが決定しました。沖縄が本土復帰した1972年に制定された本法は、これまで四度に渡り延長されましたが、軽減とは言い難い基地負担をはじめ、子どもの貧困、低い進学率や賃金水準等、「本土並み」とはほど遠い現実があります。

あべともこは、今国会衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長として、本法審議に臨みましたが、今後の十年、沖縄がその足元を固めて飛躍して行く為にも辺野古の新基地建設は見直すべきであり、再生可能エネルギーの推進等、島の新たな雇用と経済発展などに期待するものです。



3/10 衆議院本会議にて審議結果報告

衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県12区（藤沢市・寒川町）
 当選8回、東京大学医学部卒業、
 小児科医、あべともこ子どもクリニック（湘南台）理事長
 現在、厚生労働委員会・沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長、
 原子力問題調査特別委員会委員



https://twitter.com/abe_tomoko



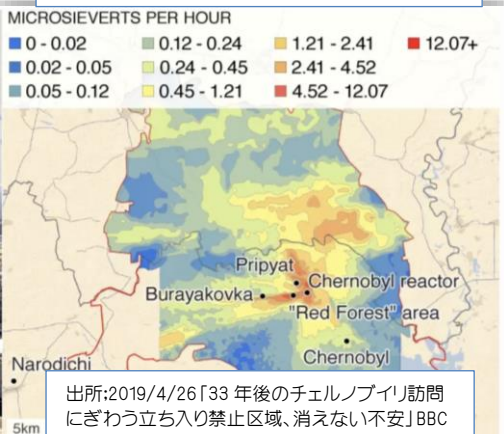
<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこ後援会入会及び、ボランティアスタッフ募集中！

チェルノブイリ原発周辺の立ち入り禁止区域



◆子どものワクチン接種、効果は限定的

3月30日、厚生労働委員会にて、5歳以上11歳迄の子どもへの新型コロナワクチン接種について質問をしました。

既に、3月から本格的に開始され、「接種勧奨」と謳っていますが、この年齢でのオミクロン株に対するワクチンの効果は少なく、またこれ迄の副反応の十分な検討もなされておらず、接種を受けようとしている親御さんからは不安の声を多く聞きます。

2月20日迄の接種後の死亡例総数は、ファイザー1430、モデルナ82、アストラゼネカ1、合計1513件となっておりますが、全て因果関係不明となっております。中には13歳の男の子が接種4時間後に死亡した事例もあります。

WHOやドイツ、英国のように、まずは基礎疾患のある子が受けられる体制を確立するとともに、副反応の検証方法を再考すべきです。第7波の可能性も出ている中、検査体制も含めた感染対策の拡充もあわせて急務です。

◆危機的な原発への侵攻

ロシア軍による侵攻が開始されてから1ヶ月以上が経過。1日には、「停戦合意案」が首脳間で協議できる段階まできているとの報道も出ていますが、国連人権高等弁務官事務所によれば、侵攻後からウクライナ市民1300人以上が死亡したと発表（1日付）、避難民の数も405万人余り（30日付）で、うち9割は女性と子どもで深刻な状態は続いています。

チェルノブイリ原発からはロシア軍が撤退しましたが、周辺の核汚染されて枯死した「赤い森」で塹壕を掘っていたロシア軍兵士が「急性放射線症候群」になったとの報道が、当局の未確認情報ではありながら流れてきます。原発事故後35年が経ってもなお、土壌汚染が深刻であることは間違いありません。人類と環境への被曝を避ける為にも即時停戦は待ったなしです。